

報告

2026年3月23日

# 広島大学若手教員 国際機関等派遣支援プログラム (2025年)

@国連人間居住計画 (UN-Habitat), ナイロビ, ケニア

報告者 レティシア ムシャンゴス

特任准教授

最高サステナビリティ責任者(CSO)

2025年2月に広島大学に着任

## 研究分野

廃棄物管理

循環型経済

環境影響評価

グローバルサウス(アフリカ、東南アジア)

## 研究手法

物質フロー分析およびライフサイクル分析

ステークホルダー分析および社会ネットワーク分析

ジェンダー主流化

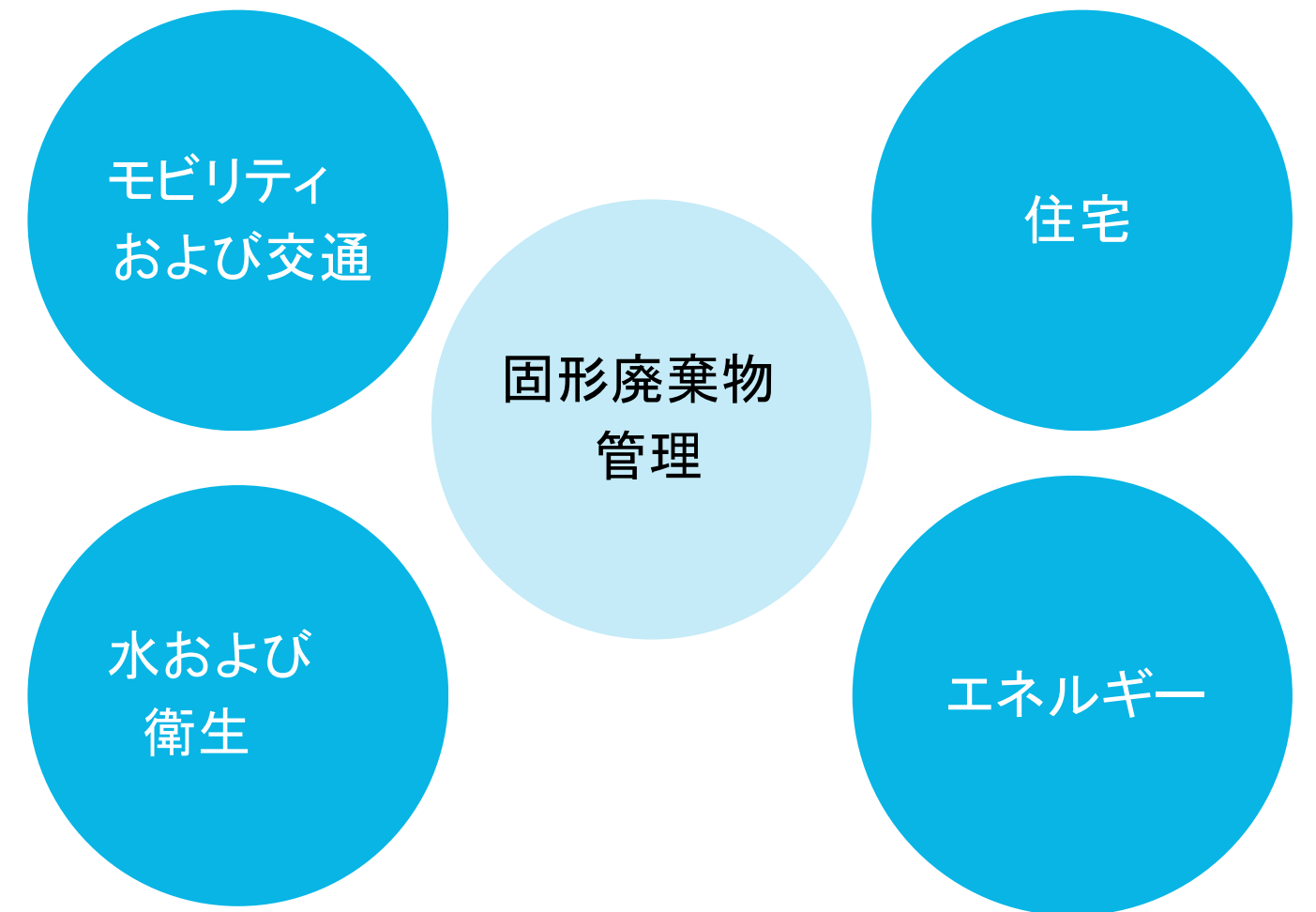
費用便益分析



固形廃棄物チーム  
都市基礎サービス課  
グローバル・ソリューション部  
UN-Habitat本部

国連総会の権限に基づき、社会的・環境的に持続可能な都市開発を推進することを使命とし、国連システムにおける都市化および人間居住分野の中心的機関である。

ケニア・ナイロビに所在するアフリカ地域事務所は、急速に都市化が進む人口構成を見据え、アフリカ各国政府と連携し、早期段階からの政策的対応を支援している。

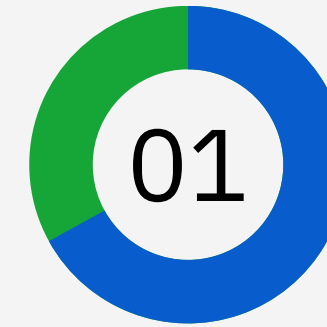


# 固形廃棄物チーム

## 動機および整合性

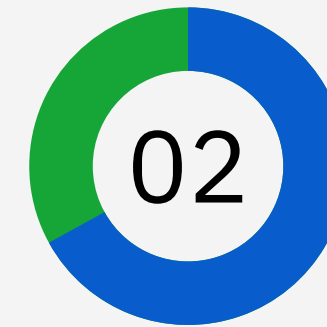
UN-Habitat の都市基礎サービス課 (Urban Basic Services Section) は、持続可能な固形廃棄物管理を含む都市基礎サービスへのアクセス向上を推進することを使命としている。

- 都市固形廃棄物管理に関するデータ収集
- 地方・地域・国家レベルの行政機関との連携による政策・ガイドラインの改善
- 都市貧困層を重視し、サービス提供範囲の拡大を伴う持続可能な廃棄物管理への投資促進に向けた環境整備



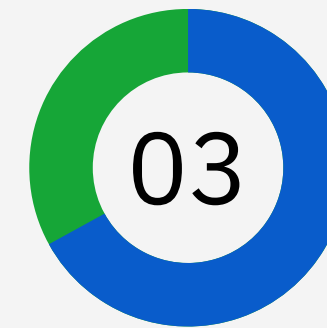
### アフリカを中心とした取り組み

アフリカの国・都市を重点とした、多国間かつ多様なステークホルダーによる協働



### アフリカ・クリーンシティ・プラットフォーム (ACCP)

急速に都市化が進むアフリカにおいて、2030年までに廃棄物関連SDGsの達成を目指す、知識共有および投資促進のためのプラットフォーム (226都市・47か国が加盟、JICA支援)



### ウェイスト・ワイズ・シティーズ (WWC)

約400の都市および地方自治体を対象に、知識・優良事例の共有、廃棄物データの収集・モニタリング、教育・啓発、ならびにプロジェクト形成支援を行うグローバルなイニシアティブ

# 実施内容

1月12日から2月27日まで

01

アフリカ・クリーンシティ・プラットフォーム(ACCP)の事務局業務を支援するとともに、Waste Wise Cities Tool(WaCT)の業務に従事

02

UN-Habitat における廃棄物関連プロジェクトの助成金申請書の審査支援

03

広島大学と UN-Habitat 間の連携可能性の検討・構想

04

広島大学、UN-Habitat およびパートナーに適合する資金スキームの特定・整理

# 成果および今後の展開

01 食品廃棄物管理の課題と機会に関する、4月号ACCPニュースレター向け短編記事の作成

02 都市廃棄物管理の社会・平和的側面に関するウェビナーシリーズ  
(4～6月開催)

03

- 共同申請に向けた関連資金スキームの一覧作成
- 学生インターンシップの可能性に関する初期的な協議

A woman with braided hair, wearing a dark blue blazer and pants, stands smiling in a garden. Behind her are large, three-dimensional letters spelling 'SUN' made of blue metal frames filled with green plants. The garden is surrounded by trees and a building in the background.

# Thank you very much for the opportunity!

**COMMENTS & FEEDBACK**